

優良建設工事説明書

工事番号	除雪第2号	工事名	中央公園線他消雪パイプ打換工事
施工場所	中央町2丁目 地内	請負金額	14,774,400円
工期	自 平成29年9月1日 至 平成30年1月23日		
施工業者	株式会社 中村組	代表者	中村 俊一
現場代理人	若月 茂雄	主任(監理)技術者	若月 茂雄
【工事概要】 施工延長 L=404.1m 消雪パイプ散水管打換工(65A)L=218.3m 消雪パイプ散水管打換工(75A)L= 49.6m 消雪パイプ散水管打換工(100A)L=99.9m 消雪パイプ散水管打換工(125A)L=18.2m 消雪パイプ散水管打換工(100A)L= 9.9m 消雪パイプ散水管打換工(125A)L= 8.2m	一次下請内容	工種	消雪パイプ(打換)工事
		工種	舗装版切断工事
		工種	交通誘導業務
		工種	交通誘導業務
	業者数	4社	
	下請率		
	成績評定点	84点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
既設消雪パイプ取壊しについて、当初設計では大型ブレーカ等による破砕を予定していたが、施工業者の提案、工夫により、既設消雪パイプをバックホウで吊れる大きさに切断し、バックホウに特殊なアタッチメントを取付け、消雪パイプ脇を最小限掘削し、既設消雪パイプの吊上げ撤去を行った。このことにより、ブレーカ等を使用した際の騒音、振動がなくなり、家屋被害や苦情もなく、工期短縮にもつながった。

【検査員】
竣工書類は管理項目別に分冊とし、一覧表を作成し仕切りやインデックスを色分けするなどして見やすく分類し整理されていた。別発注のさく井工事の試験結果による配管計画の変更指示に素早く対応し、迅速に工事着手を行い、降雪期前の11月末までに現場を完成させたことは大いに評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



優良建設工事説明書

工事番号	下豊複第1号	工事名	豊浦北部第4処理分区(78-1他4)管渠工事	
施工場所	大伝・乙次	請負金額	80,913,600円	
工期	自 平成29年 6月28日 至 平成30年 2月 17日			
施工業者	(株)加賀田組 下越営業所	代表者	高橋 豊博	
現場代理人	土田 俊昭	主任(監理)技術者	土田 俊昭	
【工事概要】 施工延長 L=297.2m 開削工φ150 L=133.9m 圧送管φ75 L= 53.7m 推進工φ250-75 L= 5.0m φ250-150 L= 6.5m φ150 L= 95.4m 1号マンホール 5基 小口径マンホール 3基 公共ます設置工 11箇所	一次下請内容	工種	推進工工事	
		業者数	5社	
		下請率		
		成績評定点	84点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】
 施工箇所は交通量の多い国道460号であり、小学校の通学路でもある。独自ののぼり旗を製作し、登下校時には児童優先で交通誘導を行うことで事故等がなかった。また、現場付近の地域清掃も行い、地域住民の心象も良かった。道路に近接して民家があることから、大型重機による施工時には、振動計により振動を計測し、住民に不快感を与えないように監視した。

【検査員】
 竣工書類は管理項目別に見やすく分類し、項目によって別冊にして、一覧表や色別インデックスを利用するなど丁寧に書類作成されていた。県道部は施工時期に制限のある中で、良好な工程管理により計画通り降雪期前に工事を完了させ、長期にわたる工事を無事に完了させた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



地域の清掃状況



振動測定状況

優良建設工事説明書

工事番号	下单第3号	工事名	新発田東部処理分区(723-3他12)管渠工事	
施工場所	五十公野地内	請負金額	78,526,800円	
工期	自 平成29年6月19日 至 平成30年2月 8日			
施工業者	(株)馬場工務店	代表者	代表取締役 馬場 亨	
現場代理人	岡本 洋	主任(監理)技術者	岡本 洋	
【工事概要】 施工延長 L=469.7m 推進工HPφ250 L=70m 開削工φ200 L= 209.5m φ150 L= 190.1m 1号マンホール工 N=11基 小口径マンホール工 N=12基 公共ます設置工 N=22箇所	一次下請内容	工種	開削工	
		"	推進工	
		"	舗装切断工	
		業者数	10社	
		下請率		
成績評定点	84点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 関連工事との工程調整を主体的に行うことにより、トラブルなく工事を終えることができた。また、地域住民への配慮を怠らず自ら進んで行い、品質、出来形、安全管理においても秀でていたことは他の模範とするところである。			
	【検査員】 現場状況の変化による工法の変更等があったが、関係機関に配慮を怠らず、監督員と十分な協議及び提案を行い、施工管理を実施して工事完了した点は評価できる。安全管理では、安全作業打合せや安全日誌、安全訓練教育、ハットロール等、漏れなく実施されていた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



推進管据付状況



立坑完了



到達確認



施工区域への浸入防止対策



地域貢献

優良建設工事説明書

工事番号	下複第6号	工事名	新発田北部処理分区(439-3他12)管渠工事	
施工場所	城北町1丁目	請負金額	105,084,000円	
工期	自 平成29年 7月13日 至 平成30年 3月 9日			
施工業者	(株)石井組	代表者	石井 和郎	
現場代理人	小山 健二	主任(監理)技術者	小山 健二	
【工事概要】 施工延長 L=635m 推進工φ200 L=203.8m 推進工φ150 L= 11.4m 開削工φ200 L= 97.3m 開削工φ150 L=304.6m 1号マンホール 11基 小口径マンホール 10基 公共ます設置工 30箇所	一次下請内容	工種	推進工工事	
		"	円形立坑工事	
		"	管渠(開削)工事	
		"	交通誘導員	
		"	舗装切断工事	
		"	インバート工事 ほか	
		業者数	7社	
下請率				
成績評定点	83点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 施工箇所は非常に交通量の多い幹線道路であり、工事予告看板を多く設置し、渋滞緩和を図った。また、既設舗装の状態が悪かったため、工事区間外においてもクラック補修等を行い、舗装剥離防止や振動軽減に寄与した。推進工の際には、スクリューにスポンジを巻くことで空隙率を低減し、土砂取り込み過多を防止し、地盤沈下防止を図った。施工後は側溝清掃により地域貢献した。</p> <p>【検査員】 工事書類は管理項目別に分類し、適度に分冊して、インデックスの色分け、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでおり、見やすく理解しやすい書類であった。本工事は幅員の広い街路と狭い市道での工事区間であったが、交通量が多い施工区間、通行止となる施工区間共に安全管理が適切に実施されていた。</p>			

【説明を補足する写真、図面、略図】



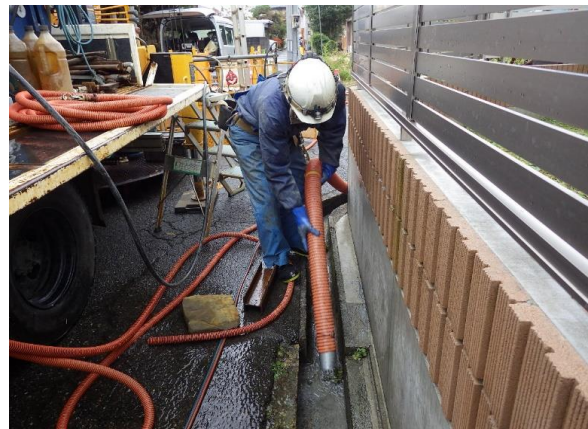
工事予告看板の設置



既設舗装のクラック補修



スクリューにスポンジを巻き、掘削土砂の取り込み過ぎを低減



バキューム車による側溝清掃を実施

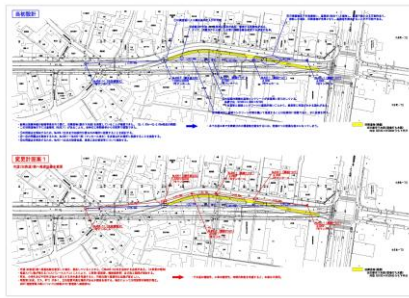
優良建設工事説明書

工事番号	下補線第1号	工事名	新発田北部処理分区(401他4)管渠工事	
施工場所	城北町2丁目	請負金額	81,086,400円	
工期	自 平成29年3月31日 至 平成29年10月31日			
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄	
現場代理人	加藤武史	主任(監理)技術者	加藤武史	
【工事概要】 施工延長 L=190m 開削工φ300 L=3.0m 推進工φ300 L=179.1m 1号マンホール工(抗菌) N=4基 4号マンホール工(抗菌) N=1基	一次下請内容	工種	推進工	
		〃	開削工	
		〃	立坑工	
		〃	薬液注入工	
		業者数	10社	
		下請率		
成績評定点		83点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 現場着手前の設計照査や他企業埋設部調査のみならず、過年度の関連工事の資料を収集する等、綿密な準備、計画に基づきリスクを回避するような変更提案を行った。また、トラブル発生時には監督員へ密に「報告・連絡・相談」を行い、適切な対応を行ったことで精度・品質ともに他の模範となるような施工管理がなされた。			
	【検査員】 竣工書類は管理項目別に別冊とし、一覧表とインデックスを上手く利用して見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。現場は幾つかのトラブルに見舞われたが、監督員と打合せを十分行い、優れた施工管理の下、素早い対応を行い工事が実施された。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



下水道管渠と交差する推進管(用水)の埋設深度を探査ボーリングにより調査。



過去の県管街路事業の資料を基に、適切な変更提案を実施。



推進中のトラブルには、立坑を追加施工しマシンを回収



当初設計では沈設立坑方式で設計されていたマンホールポンプ場を、より確実に、より安全に施工するため、鋼製ケーシング立坑方式に変更。φ2500ケーシングの施工のため夜間規制が必要になったが、第三者や通過交通に配慮し、安全施工に努めた。



県道車道部の掘り返しを避けるため、マンホール築造時に電線管路を先行埋設。



通常の可とう継手が使用できなかったことから、伸縮可とう管に変更して施工。



高校生の職場見学時には積極的に現場を提供。

優良建設工事説明書

工事番号	下单第2号	工事名	新発田東部処理分区(746他6)管渠工事	
施工場所	五十公野 地内	請負金額	24,505,200円	
工期	自 平成29年6月15日 至 29年12月11日			
施工業者	(株)クレド	代表者	菊地 貞義	
現場代理人	高沢 鉄博	主任(監理)技術者	高沢 鉄博	
【工事概要】 施工延長203m 開削工φ150 L=161.0m 開削工φ200 L= 38.2m 小口径マンホール 7基 公共ます 17箇所	一次下請内容	工種	管渠工	
		"	舗装切断工	
		"		
		"		
		業者数	3社	
		下請率		
成績評定点		82点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 関連工事との工程調整を主体的に行うことにより、トラブルなく工事を終えることができた。また、品質、出来形、安全管理、地元調整において秀でていたことは他の模範とするところである。			
	【検査員】 竣工書類は管理項目別に分類し、適度にファイルで分冊・整理され、またインデックス、一覧表で内容を整理する等、見やすく書類をまとめていた。検査時には説明を求めた書類についても的確に提示し説明することができていた。安全管理・工程管理については良好に行われており、当初工程どおりに工事を竣工できていた。創意工夫では地域住民とのコミュニケーションに積極的に取り組んでいた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



本管法線確認



埋設物重複により人力掘削



インバート状況出来上がり状況



作業終了後、地元区長との側溝汚れ確認

優良建設工事説明書

工事番号	改整第1号	工事名	配水管入替29-1工区(開削)工事			
施工場所	大手町5丁目地内	請負金額	83,451,600円			
工期	自 平成29年6月27日 至 平成29年12月15日					
施工業者	新菖工業(株)	代表者	荒井 英之			
現場代理人	居城 卓也	主任(監理)技術者	居城 卓也			
【工事概要】 配水管入替工事・①PEPφ150 L=569.0m・②-1 PEPφ150 L=52.1m+HIVPφ50 L=1.1m・②-2 PEPφ150 L=6.7m・③PEPφ150 L=34.4m+PEPφ75L=0.7m・PEPφ100 L=36.3m・①PEPφ75L=6.1m+PEPφ50 L=2.1m・②PEPφ75L=6.6m+PEPφ50 L=2.2m・PEPφ50 L=3.2m+HIVPφ50 L=3.4m消火栓移設・防火水槽接続工事・地下式単口消火栓φ75 5箇所・防火水槽接続 PEPφ75L=3.0m HIVPφ75L=1.7m給水管改造工事 口径φ20～φ30…66箇所	一次下請内容	工種	配水管布設工事			
		業者数	6社			
		下請率				
		成績評定点	82点			
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<p>【主任監督員】 ○工事の施工にあたり、熱中症予防対策を講じ、作業員の健康管理に努めた。○給水管改造工事において、穿孔片の置き忘れによる出水不良等の施工不良が起きないように施工管理の向上に努めた。○工事の施工中において、交通規制中にこまめな巡回看板を設置し、周辺住民にもわかりやすくトラブルや苦情を無くすよう努めた。</p> <p>【検査員】 66箇所の給水管改造工事において、穿孔片の置き忘れによる出水不良等の対策として、穿孔片回収確認を実施していた。交通量の多い車道での施工であったが、交通規制中による交通渋滞や苦情・トラブル等を無くすよう努めていた。</p>			
		【説明を補足する写真、図面、略図】				

熱中症予防対策



設置場所：大手町5丁目 地内
作業量：1074㎡
内容：空調事務所設置状況
・エアコン200V

設置場所：大手町5丁目 地内
作業量：1074㎡
内容：空調事務所設置状況
・ウォーターサーバー

設置場所：大手町5丁目 地内
作業量：1074㎡
内容：空調事務所設置状況
・熱中症対策バック

設置場所：大手町5丁目 地内
作業量：1074㎡
内容：空調事務所設置状況
・熱中症対策バック

設置場所：大手町5丁目 地内
作業量：1074㎡
内容：空調事務所設置状況
・熱中症対策バック

給水管改造工事

施工管理シートの活用



穿孔片回収を確認



漏水確認 耐圧試験状況



穿孔片回収 66件分



工事看板の設置状況



高さ：新築田城跡前交差点
内容：通行止めによる規制状況

高さ：新築田城跡前交差点
内容：通行止めによる規制状況

高さ：新築田城跡前交差点
内容：案内看板の作成

高さ：新築田城跡前交差点
内容：案内看板の作成

優良建設工事説明書

工事番号	配水第2号	工事名	内竹配水場第1配水池耐震化工事(第2期工事)	
施工場所	新発田市下内竹地内	請負金額	154,364,400	
工期	自 平成29年5月16日 至 平成30年3月9日			
施工業者	新発田建設(株)	代表者	代表取締役社長 渡辺 明紀	
現場代理人	鹿間 博行	主任(監理)技術者	鹿間 博行	
【工事概要】 耐震補強工事 一式 改修工事 一式	一次下請内容	工 種	仮設・コンクリト工事	
		"	電気工事	
		"	揚重工事	
		"	解体撤去工事	
		"	墨出し工事	
		"	配管更新工事	
		"	防水・アンカー工事	
		"	せん断補強鉄筋工事	
		"	清掃	
		"	鉄筋工事	
		"	型枠工事	
		"	コンクリト圧送工事	
		"	左官工事	
		"	交通誘導	
"	塗装工事			
	業者数	15社		
	下請率			
	成績評定点	82点		

<p>表彰対象と評価できる内容(選定理由)</p>	<p>【主任監督員】 作業員の熱中症予防として、直射日光を遮るように上部にブルーシート養生を自主的に施し、施工を行った。また、頂版の解体工において、大型重機を使用せず、カッター切断方法に変更し、既存躯体の影響を最小限に抑え、騒音、粉塵の軽減に努めた。</p> <p>【検査員】 ・近隣には、水道局庁舎や保育園もあったが、騒音・振動・防塵対策に対しても十分配慮するとともに、きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部までの仕上がりが丁寧であった。 ・各種工事の施工計画書を適切に作成し、そのチェックシートを使い、施工状況の出来形確認を行っていた。また、不可視部分の写真も非常に細かく、スタッフやスケールを使用して撮影するなどの確に確認することが出来た。</p>
---------------------------	--

【説明を補足する写真、図面、略図】



・ブルーシート養生



・カッター切断状況
ロータリーカッターによるコンクリト切断



・ブルーシート養生



・解体材搬出状況

優良(建設)工事説明書

工事番号	特加単第3号	工事名	加治川処理区(3123他3)管渠工事
施工場所	向中条	請負金額	41,860,800円
工期	平成29年6月12日～平成29年12月28日		
施工業者	(有)島津管工	代表者	島津 郁晃
現場代理人	島津 将大	主任(監理)技術者	長 和夫
【工事概要】 施工延長 L=220m 推進工φ150 L=8.5m 開削工φ150 L=204.7m 1号マンホール工 5基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 3箇所 地下水低下工 1式	一次下請内容	工種	
		舗装切断工	サンワ技研
		推進工	(有)渡辺組
		交通誘導	株J.SECURITY
		底部工	(有)大淵工業
		管渠内TV調査	株都市環境
		家屋調査	(有)吉田建築事務所
		業者数	6 社
下請率			
成績評定点	82点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 狭幅の公共ますの設置箇所において、ピットミニ工法で施工することで家屋への振動、騒音対策を図り、無事工事を完成させた。また、残土運搬時、ダンプトラックに付着した残土を洗浄し、場外への飛散防止対策を講じるなど積極的な環境対策を講じた。		
	【検査員】 工事書類は管理項目別に分類し、インデックスを利用して一覧表や集計表で内容を整理する等、丁寧な書類作りを行い、非常に見やすくまとめられていた。工法や法線の変更については、早期に監督員と綿密な協議を行い、工程に影響を及ぼさず施工し、むしろ予定工期を短縮し工事を完成させていた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



狭幅な公共ます設置箇所において、ピットミニ工法による施工により、家屋への騒音、振動対策を図った。



残土運搬時、ダンプトラックに付着した土砂を除去し、周辺の環境対策を講じた。

優良(建設)工事説明書

工事番号	雨単第1号	工事名	大手町雨水枝線整備その2工事	
施工場所	大手町1丁目他	請負金額	18,738,000円	
工期	自 平成29年 8月10日 至 平成30年 1月11日			
施工業者	㈱中村組	代表者	中村 俊一	
現場代理人	若月 誠	主任(監理)技術者	若月 誠	
【工事概要】 施工延長 L = 73.2 m 自由勾配側溝 L = 62.7 m 管渠工 L = 4.0 m 集水柵 N = 3 基 既設構造物撤去工 N = 1 式 既設管閉塞工 N = 1 式 既設埋設管切廻工 N = 1 式 既設汚水取付管布設替工 N = 1 式	一次下請内容	工種	側溝工・撤去工他	
		〃	モルタル注入工	
		〃	水道給水管切廻し工	
		〃	水道給水管切廻し工	
		〃	舗装切断工	
		〃	雨水管TV調査工	
		業者数	6社	
		下請率		
成績評定点	81点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は、店舗との工程調整や車両通行を確保するための交通規制等が困難であったにもかかわらず、地域住民への連絡調整を密に行い、トラブル無く円滑に工事を完了することができた。また、近隣への影響に配慮した施工や老朽箇所の修繕等を積極的に行うなど現場内各所で行き届いた管理がなされおり、竣工図書も的確に整理されていた。			
	【検査員】 竣工書類は管理項目別にファイルを分冊とし、インデックスを色分け利用してまとめられ、一覧表を用意して、内容を細部についても的確に把握できる工夫が見られた。施工区間は店舗等があり、通行止めを伴う工事であったが、地域住民との連絡を密にして、トラブル無く工事が竣工できた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



竣 工 (4-1路線 横断部)



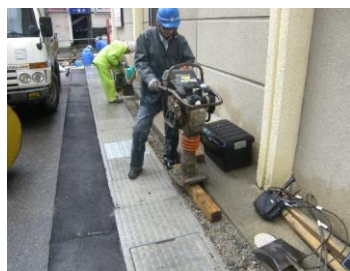
竣 工 (4-1 路線 上流から下流を望む)



竣 工 (3-1-2 路線 横断部)



横断部の施行において、業務用車両の通行に配慮し、片側交互通行での施工



宅地側の転圧状況



地域住民への対応として、舗装を修繕



店舗前横断部での施行
店舗の定休日に合せて
分割施工

優良建設工事説明書

工事番号	街環補第3号	工事名	街なみ環境整備事業(寺町・清水谷地区)護岸整備工事
施工場所	中央町2丁目 地内	請負金額	24,580,800円
工期	自 平成28年12月8日 至 平成29年4月30日		
施工業者	株式会社 中村組	代表者	中村 俊一
現場代理人	若月 誠	主任(監理)技術者	若月 誠
【工事概要】 施工延長 L = 66.6 m 土工 1式 護岸工 ブロック積 A = 129㎡ 構造物撤去工 1式 仮設工 1式	一次下請内容	工種	護岸工・仮設工他
		〃	交通誘導
		〃	矢板圧入・引抜
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	81点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

仮設工において河川水量を考慮し、当初コルゲートフレームを用いた仮設水路としていたが、鋼矢板を用いた締切りによる工法へ自主的に変更し施工を行った。施工にあたり、矢板隙間から川水の浸入を可能な限り防ぐため、矢板にビニールシートを設置したこと、他、二次製品の基礎ブロック使用等、細かい箇所の施工方法の工夫を行った。これらのことから、市街地における有事の際の水利確保、掘削時の作業効率及び水替えを抑え、地域への配慮、工期短縮及び品質確保に努めていた。

【検査員】

竣工書類は管理項目別にファイルで分類し、一覧表やインデックス等を利用して内容を整理し、非常に見やすく丁寧にまとめられていた。検査時の質疑に対してもスムーズな対応が見られた。地元要望により、仮設工の大幅な見直しが必要となったが、積極的に技術提案を行い、安全を確保しつつ、工事を完了させた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



水利確保、作業効率の向上、水替え頻度低減：仮設工の変更、ビニールシートを用いた川水浸入の抑制



二次製品基礎ブロック使用



工期短縮、品質確保



マフラーの工夫



樹木の保護



ガートローフ 修繕



地域への配慮：ガートローフ・側溝修繕



側溝修繕



側溝修繕

優良建設工事説明書

工事番号	改整第10号	工事名	配水管入替29-10工区(開削)工事
施工場所	小見他地内	請負金額	46,904,400円
工期	自 平成29年10月16日 至 平成30年3月23日		
施工業者	(株)馬場工務店	代表者	馬場 亨
現場代理人	此村 孝之	主任(監理)技術者	佐藤 勝美
【工事概要】 配水管入替工事DIPNSφ500L=220.0m	一次下請内容	工種	土工・配管工事
		〃	交通誘導
		〃	舗装工事
		〃	舗装切断区画線工事
		〃	交通誘導
		業者数	5社
		下請率	
	成績評定点	80点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 NS継手部の施工において、ボルトナットの締め付けと締めすぎ対策として、デジタルトルクレンチによる締め付け確認作業を行い、施工精度の向上に努めた。		
	【検査員】 水道管の重大な漏水事故になりかねないことから、継手の締め付けや締めすぎ対策としてデジタルトルクレンチを使用し、締め付け確認作業を行う事で、精度の向上と漏水防止対策に努めていた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】

NS継手部のデジタルトルクレンチによる締め付け作業と締め付け確認作業

	<p>No. 6+5</p> <p>工種: 配水管布設工</p> <p>トルク締め確認状況</p>		<p>No. 8</p> <p>工種: 配水管布設工</p> <p>ゴム輪挿入状況</p>
	<p>No. 6+5</p> <p>工種: 配水管布設工</p> <p>使用トルクレンチ</p> 		<p>No. 8</p> <p>工種: 配水管布設工</p> <p>トルクレンチ締め確認状況</p>
	<p>No. 6+5</p> <p>工種: 配水管布設工</p> <p>受け口間隔確認状況</p>		<p>No. 8</p> <p>工種: 配水管布設工</p> <p>トルクレンチ締め確認状況</p> 

優良(建設)工事説明書

工事番号	地観受 第1号	工事名	月岡温泉景観整備工事
施工場所	月岡温泉	請負金額	19,634,400円
工期	自 平成28年12月16日 至 平成29年 5月31日		
施工業者	豊浦建設(株)	代表者	齋藤 正行
現場代理人	菅 正文	主任(監理)技術者	菅 正文
【工事概要】 施工延長 L=31m ・自然石張り工 A=155m ² ・消雪パイプ撤去、設置 L=31m	一次下請内容	工種	立坑工・人孔工・取付管工
		〃	推進工
		〃	仮設工(水替)
		〃	舗装工
		業者数	5社
		下請率	
成績評定点	80点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

観光地(温泉街)での施工条件のもと、関係者への連絡調整の徹底、施工上における周辺施設及び住民に対しての騒音・振動の軽減対策、車はもちろん観光目的の歩行者も多いことから施工中及び夜間の安全対策の徹底に努めた。基本的な部分ではあるが第三者からの苦情等が無く、工事竣工にむけ取り組んでいた姿勢は施工管理及び安全管理において優秀であった。

【検査員】

竣工書類は管理項目別に分類し、インデックスを利用するなど、丁寧にまとめられていた。工事は地域性から工事時期に制限がある中、市の監督員や地元と綿密に打合せを行い、十分な施工管理・工程調整を実施して、無事に工期内にトラブルなく工事を完成させていた。竣工の美観がよく、安全管理も十分に実施されていることがうかがえた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



・現場周辺への振動、騒音軽減の配慮



・安全管理上における計画、実施の徹底



・観光地での施工から、大型バスや遠方からの観光客に対しての施工箇所から離れた場所での誘導対策等の徹底

